

令和6年度

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

事業報告書

一般社団法人 日本木材輸出振興協会

目 次

第1	木材輸出状況について	1
第2	令和6年度に実施した事業	1
1.	品目団体輸出力強化支援事業（令和6年度）	1
2.	品目団体輸出力強化緊急支援事業（令和5年度補正）	2
3.	木材製品輸出拡大実行戦略推進事業（令和6年度）	4
4.	輸出先国のニーズに合わせた木材製品の開発支援事業（令和5年度補正） ..	5
第3	総務に関する事項	6
1.	理事会について	6
2.	定時総会について	6

第 1 木材輸出状況について

令和 6 年の木材輸出額は円安基調が続く中、538 億円と対前年比で 6.5%の増となり、過去最高の木材輸出額となった。

国別では、中国が 297 億円（前年比 19.5%増、シェア 55.2%）、フィリピンが 89 億円（同 20.8%減、同 16.5%）、米国が 56 億円（同 6.3%増、同 10.4%）、韓国が 32 億円（同 14.3%増、同 6.0%）、台湾が 26 億円（同 3.3%減、シェア 4.8%）と、この 5 カ国・地域で全体の 93%を占めている。

主な品目別では、丸太が前年比 22.2%増の 282 億円（シェアは前年より 6.7 ポイント増の 52.5%）、製材が同 14.0%増の 74 億円（同 0.9 ポイント増の 13.8%）と増加した一方、合板は同 27.9%減の 74 億円（同 6.5 ポイント減の 13.8%）と大幅に減少した。

また、令和 7 年の第 1 四半期の木材輸出は、このような状況下で、主要 3 品目である丸太（80 億円、前年同期比 47.3%増）、製材（20 億円、同 35.2%増）、合板（18 億円、同 7.9%増）を合わせて対前年比 28.8%増の 143 億円となっている。

第 2 令和 6 年度に実施した事業

農林水産物・食品の輸出額は 2025 年までに 2 兆円、2030 年までに 5 兆円という政府の輸出額目標が設定され、その目標の達成に向けて政府と各品目団体が一体として取り組むことが求められる中、当協会は品目別認定団体として、木材産地・事業者及び関連業界団体・機関とタイアップして、令和 6 年度は以下の事業に取り組んだ。

1. 品目団体輸出力強化支援事業（令和 6 年度）

（1）業界関係者共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等

輸出ラッピング課題の解決に向けた実証的取組（ステップⅡ）

- ・ 製材等輸出ラッピング検討委員会を設置し、輸出ラッピングの推進のため、新たなラッピング資材の検討、必要な情報等について助言を求めた。
- ・ 検討委員会の議論を踏まえ、新たにポリエチレン製クロスシートのラッピング資材を試作するとともに、昨年度作成した試作品と併せて複数社に使用モニターを実施した。

- ・ 国内でのラッピングシートの作製実勢価格を調査するなど、関心を有する企業に参考となる情報を協会ウェブサイトに掲載した。

2. 品目団体輸出力強化緊急支援事業（令和5年度補正）

（1）輸出ターゲット国・地域の市場・規制等調査

ア 最新の市場情報等の提供

- ・ 中国、韓国、台湾、米国における木材市場情報について、有識者にレポート作成を依頼し、それぞれを取りまとめたものをウェブサイトを通じて公開した。

（2）海外等におけるジャパンブランドの確立

ア 「日本産木材製品輸出表示規定」の普及推進

- ・ 海外における「日本木材製品利用促進セミナー」の中で日本産木材製品輸出表示制度の説明を行った（6月14日中国上海市（オンラインを含め51名参加）、8月1日韓国ソウル市（61名の参加（対面のみ））、10月2日台湾台北市（オンラインを含め57名の参加））。

イ ベトナムのジャパンウッドステーション（JWS）を拠点とした総合的プロモーション活動

- ・ 10月23日～27日ベトナム（ホーチミン）の展示会（ベトビルド）へのジャパンパビリオンを出展した（出展企業4社）。
- ・ 日本産木材利用製品製作コンテストを企画し、11月27日はハノイにおいて表彰式を行った。

ウ 日本産木材製品の技術や品質をPRするためのパンフレット作成

- ・ パンフレットJapan Wood Brand IIIを発行した。

エ ウェブ媒体を活用した日本産木材製品の輸出力の強化の取組

（3）業界関係共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等

ア 米国への日本産樹種の構造材輸出強化事業

① 日本産樹種の強度の認可にむけた事業

- ・ 日本産ヒノキの米国における設計強度を取得した（令和6年4月4日米国製材規格委員会（ALSC）において認可を取得）。
- ・ 日本産スギの米国に向けた試験を実施した。

② 展示会への出展等の広報活動

- ・ ヒノキの設計強度やその性質を普及する記事をThe Japan Timesに掲載した（令和6年7月31日）。

- International Builders' Show（令和7年2月25日～27日（米国ラスベガス））においてジャパンパビリオンを出展した（出展企業6社）。

イ 国内における「日本産木材製品輸出促進セミナー」の開催

- 7月10日徳島県徳島市において、台湾の木材輸入業者等を招聘してオンラインを含め34名の参加を得て開催した。
- 8月21日静岡県静岡市において、中国の木材輸入業者等を招聘してオンラインを含め48名の参加を得て開催した。
- 10月24日愛媛県松山市において、韓国の木材輸入業者等を招聘してオンラインを含め30名の参加を得て開催した。

（4）海外等における販路開拓活動

ア 海外向け「日本木材製品利用促進セミナー」の開催

- 6月14日中国上海市において、オンラインを含め51名の参加を得てセミナーを開催した。
- 8月1日韓国ソウル市において、61名の参加（対面のみ）を得てセミナーを開催した。
- 10月2日台湾台北市において、オンラインを含め57名の参加を得てセミナーを開催した。
- 10月30日中国南京市において、68名の参加（対面のみ）を得てセミナーを開催した。

イ 国内におけるマッチング商談会の開催

- 7月11日、徳島県徳島市において日本企業7社、台湾企業4社の参加の下、商談会を開催した。
- 8月21日、静岡県静岡市において日本企業5社、中国企業4社の参加の下、商談会を開催した。
- 10月24日、愛媛県松山市において日本企業6社、韓国企業4社の参加の下、商談会を開催した。

ウ 中国、韓国、台湾の展示会へのジャパンパビリオンの出展・販促

- ① 広州設計週 設計選材博覧会（中国・広州市）への出展・販促（出展期間：令和6年12月6日～9日）（出展企業9社）
- ② 中国国際住宅産業並びに建築工業化製品・設備博覧会（中国・北京市）への出展・販促（出展期間：令和6年6月27日～29日）（出展企業6社）
- ③ KOREA BUILD WEEK（韓国・ソウル市）への出展・販促（出展期間：令和6年7月31日～8月3日）（出展企業6社）
- ④ 台北国際建築建材及び産品展（台湾・台北市）」への出展・販促（出展期

間：令和6年12月12日～12月15日）（出展企業10社）

（5）相手国ニーズへの対応に必要な業界統一規格等の策定・普及等

- ・ 「輸出用製材にかかるガイドライン」及び「輸出用保存処理木材にかかるガイドライン」を作成し公開した。

（6）新規輸出国開拓に向けた調査及び輸送試験

ア インドにおける木材性能検証事業

- ・ インドのIWST(Institute of Wood Science and Technology)においてスギの性能試験を行うため、IWSTと試験内容等について協議を実施した。

イ インドネシアにおける木材市場調査

- ・ インドネシアへのスギ、ヒノキ構造材等の輸出促進のため市場調査を行うとともに2月12日の成果報告会で成果を報告した。

3. 木材製品輸出拡大実行戦略推進事業（令和6年度）

（1）木材製品輸出産地育成

付加価値の高い木材製品の輸出促進のため、木材製品輸出産地の募集を行ったところ二者から応募があり、審査の結果（一社）岡山県木材組合連合会を実施者として選定し、同団体の輸出事業計画策定に向けた取組に対して支援を行うとともに、輸出産地の育成を図るため「木材輸出産地育成促進セミナー」を開催した。

- ・ 採択した実施者・実施内容の概要

実施者名	実施内容
（一社）岡山県 木材組合連合 会	・ ヒノキ製品輸出産地育成検討会の開催（2回開催） ・ 輸出事業計画策定に向けたセミナーの開催（2回開催） ・ 輸出事業計画策定ワークショップの開催（1回開催）

- ・ 木材輸出産地育成促進セミナーの開催
令和7年3月6日（名古屋市）

（2）国内外における木造技術講習

付加価値の高い木材製品の輸出促進を図るため、日本式木造建築物等技術者を育成するため、海外（中国、韓国、米国、台湾）における木造軸組構法技術講習会、国内における木造技術研修会を開催した。

① 海外における木造軸組構法技術講習会の開催

- ・ 中国：令和6年7月17日～7月19日、吉林省吉林市において開催（オンラインを含め178名参加）。
- ・ 韓国：令和6年9月24日、ソウル市において開催（63名参加（対面のみ））。
- ・ 台湾：令和6年8月13日、台北市において開催（99名参加（対面のみ））。
- ・ 米国：令和7年2月26日、International Builders' Show2025 会場内（ネバダ州ラスベガス市）において開催（20名参加（対面のみ））。

② 国内における木造軸組構法技術研修会の開催

- ・ 令和6年10月18日、木材・合板博物館（東京都江東区）において開催（オンラインを含め20名参加）。

4. 輸出先国のニーズに合わせた木材製品の開発支援事業（令和5年度補正）

付加価値の高い木材製品の輸出拡大のため、輸出先国のニーズや規格・基準等に対応した製品・技術開発や性能検査・実証を行う取組を支援した。

本事業は2回の公募で15件の応募があり、有識者等からなる検討委員会での審査により以下の4件を採択した。

No.	助成事業実施者	事業名	対象国
1	ライフデザイン・カバヤ(株)	ベトナム及び近隣諸国向け木造軸組の基準・規格整備事業	ベトナム
2	(株)五感	海外剣士のニーズに合わせた弾性剣道場床材の性能検査及び実証	イタリア
3	ヤマガタヤ産業(株)	シンガポール等アセアン地域の気候条件に対応できる日本産銘木一枚板及び加工品の開発並びに販路開拓事業	シンガポール
4	院庄林業(株)	アセアン向け改良型木製グランピング施設の開発及び性能検証	ベトナム

採択された事業の進捗確認に係る検討委員会を10月25日に、事業評価のための検討委員会を令和7年2月25日に実施した。

3月7日には、事業内容と成果等を広く普及するため、成果報告会をZoomウェビナーにより開催し、さらに、成果報告会の発表資料及び成果報告書を作成し、当協会のホームページに掲載して、事業成果の普及を図った。

第3 総務に関する事項

1. 理事会について

第1回理事会

開催日：令和6年6月6日

議 事：

- (1) 令和5年度事業報告書（案）について
 - (2) 令和5年度決算報告書（案）について
 - (3) 理事候補者の推薦について
 - (4) 定時総会の開催日時、場所、議題等について
 - (5) 職務の執行状況について（報告事項）
- その他

第2回理事会

開催日：令和7年3月21日

議 事：

- (1) 令和7年度事業計画書（案）について
- (2) 令和7年度収支予算書（案）について
- (3) 令和6年度における職務執行状況について（報告事項）

2. 定時総会について

開催日：令和6年6月27日

議 事：

- (1) 令和5年度事業報告書について
- (2) 令和5年度決算報告書について
- (3) 理事の選任について

報告事項：

- (1) 令和6年度事業計画書及び収支予算書について
- (2) 会員の加入状況報告について